

# 県民の友 12月号

(平成6年/1994年)

No.676

発行

和歌山県知事公室 広報公聴課  
〒640 和歌山市小松原通1-1  
☎0734(32)4111

12月のこよみ

- 歳末たすけあい運動 1日～31日
- 世界エイズデー 1日
- 身体障害者福祉週間 9日～15日

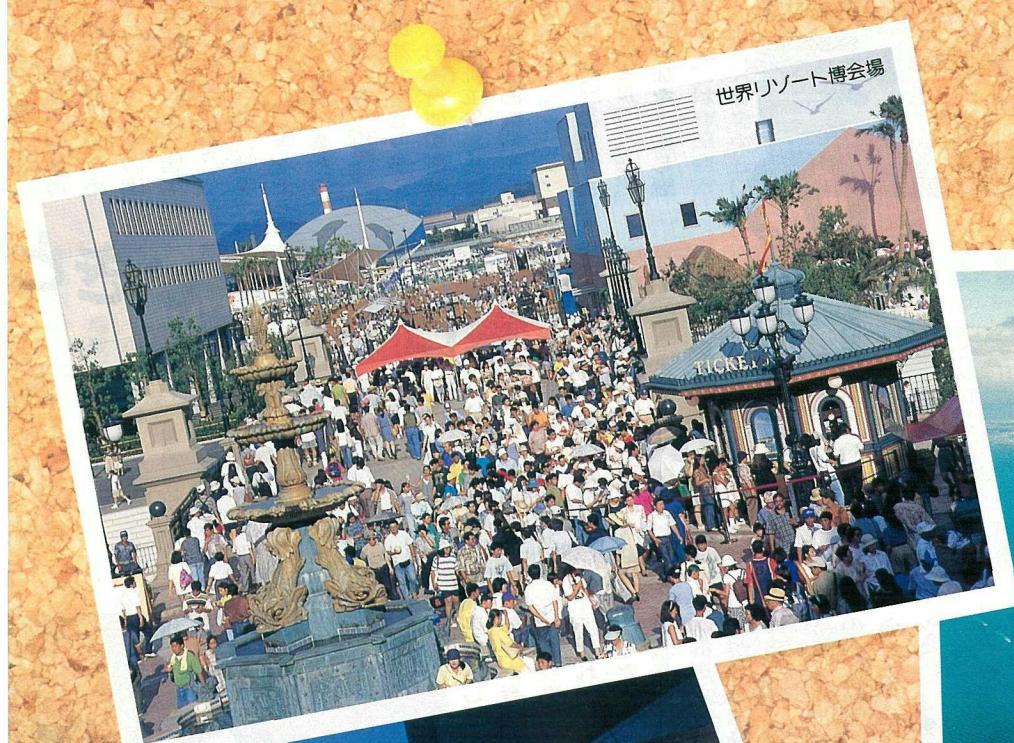
## この一年の 成果を次代へ

七月、趣向を凝らした外観と内容の豊富さを誇る新県立近代美術館、博物館の開館、七月から九月、「リゾート先進県」を全国に印象づけた世界リゾート博の開催、九月四日、和歌山のすぐ近くから世界を結ぶ関西国際空港の開港、そして都市部へ、内陸部へ着々と伸びる道路交通網…。

平成六年は和歌山県にとって、ビッグプロジェクトが花開いた、まさに躍進の年となりました。

経済、文化、福祉など多方面にわたり大きく膨らんできた未来への可能性。この成果を的確にとらえ、世界に開かれた「新しい交流の時代」に向けて、さらなる飛躍、発展を目指します。

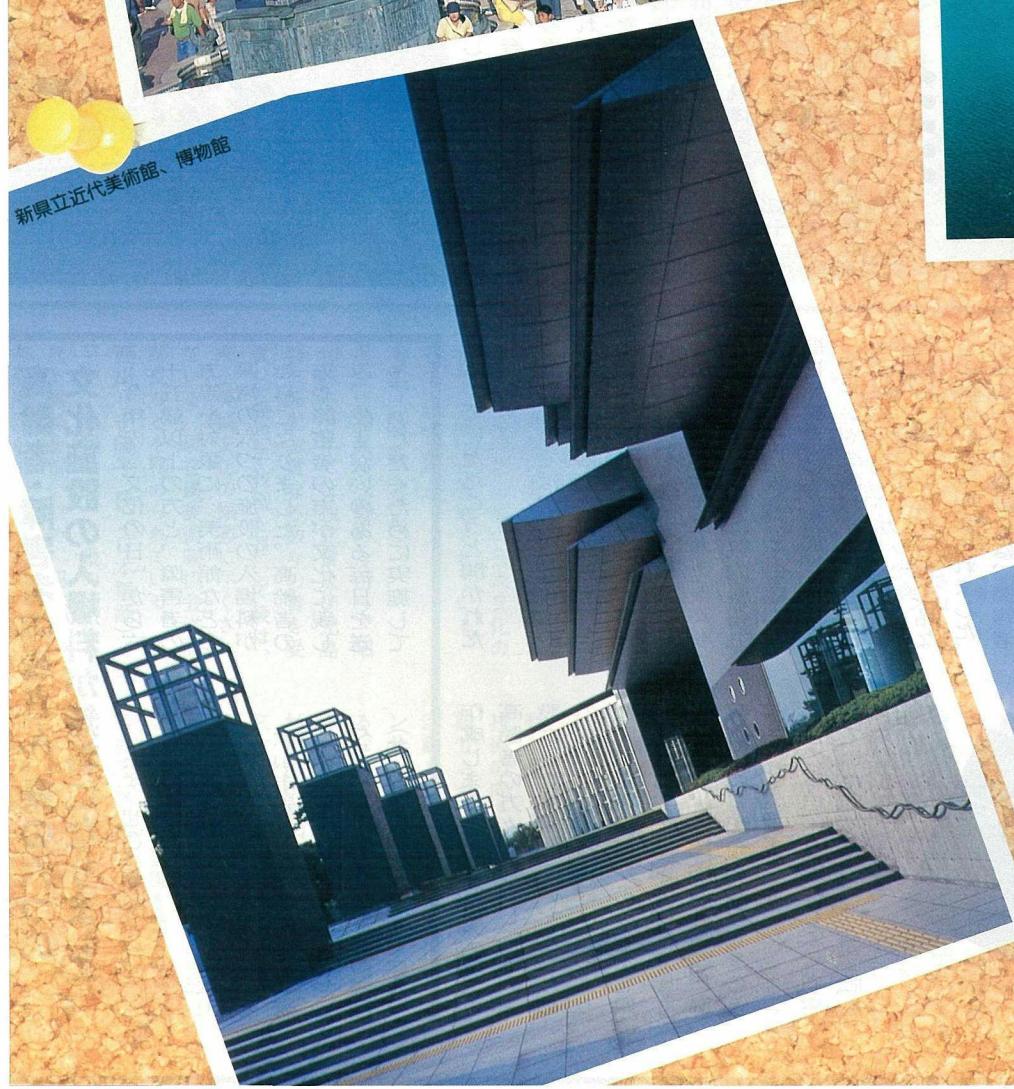
(四～五面で「今年の和歌山県」を特集しました。)



新県立近代美術館、博物館



関西国際空港



湯浅御坊道路広川IC～吉備IC





和佐福祉工場

# 十二月九日は障害者との日

障害者福祉の基本的な理念に「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」があります。「リハビリテーション」は単に運動機能の回復だけでなく、精神的、社会的な障害者の自立自助を生涯にわたり支援することで、「ノーマライゼーション」は障害を持つている人が地域社会の中で障害を持たない人と共同生活し、共に活動する社会を目指すことです。

これらの理念を基礎として、県ではさまざまな取り組みを進めています。



**自立を  
目指して**

働きたいという意欲はあっても、職場の設備や通勤時の交通事情、健康管理等の理由のため一般企業に雇用されることの困難な人々がいます。身体障害者は福祉工場は身体障害の方々が、地域社会の中で働きやすい職場を確保し社会的に自立できるよう、国、県など民間企業との協力により設置されたものです。県内には要の浦リハビリテーションセンター附属身体障害者福祉工場と和佐福祉工場の二社あります。電池の製造作業や旅行用セット(シャンプー、歯ブラシ等)の詰め合わせ作業などを行っており、自立と社会参加を目指し懸命に働いています。

## 開かれた 地域社会へ

県では障害者の方の社会参加を促進するため、一人でも多くの方が一般企業に就職できるよう取り組みを進めていますが、障害者の方の雇用をとりまく環境は厳しいものとなっています。その対策として、各種の福祉工場や、第三セクタ方式による雇用企業の設立などを進めています。

「ワインナック株式会社」は重度の障害者や精神障害者の方を対象とした、県内初の第三セクター方式による重度障害者雇用企業です。八月には創立総会

が行われ、平成七年度の操業開始を目指しています。

また、県内で初めて、精神薄弱の方を対象とした福祉工場「マルワック」と、それに併設した福祉ホーム「ローズ桃山」が桃山町調月に建設されています。福祉工場では敷布などのりネンクリーニングの作業を行います。



### ナイスハート バザール IN 和歌山

目的として、毎年「身体障害者体育大会」や精神薄弱の方の「ゆうあいスポーツ大会」が行われています。



## 「完全参加と平等」を目標に 福祉ガイドマップ 作成 住み良い 街づくりを



県では今年、福祉ガイドマップ「和歌山のやさしい地図」を作成しています。

県では障害者の方の社会への「完全参加と平等」の実現を目指し、総合的な障害者対策を進めています。今年の三月には、社会経済情勢の変化に伴う新たな課題や時代のニーズに対応するため、「紀の国障害者プラン」を策定し、今年から十年間の障害者対策の推進方向を示しています。

このプランの基本的な考え方

は、障害者の方が基本的人権を

持つ一人の人間として尊重され、主体性と自立性を持って積極的に社会参加していくための施策の推進。障害者の方を含め誰もが住みよい社会をつくるための改善の取り組みなどです。

すべての人々が障害者の方に対する正しい理解と認識を深め、地域社会ぐるみで支援する輪が広がるように取り組んでいきます。

## 高齢者・障害者の皆さん、県の六つの文化施設の入場料が無料になりました。

今年の「文化の日」から六十五歳以上の方と、障害者の方等を対象に、美術館などの県営の六つの施設の入場料が無料になりました。

高齢者の方々に安心して医療施設などを利用していただくためのものです。各施設にどのよう

な障害者用設備があるのかを県内各市町村の地図の中に表示しています。県内の公共施設、障害者団体に配布し閲覧できるようになります。

います。ぜひご利用ください。

### 対象施設

近代美術館・博物館(和歌山市吹上)、紀伊風土記の丘(和

歌山市岩橋)、自然博物館(海

南市船尾)、植物公園綠花セン

ター(岩出町東坂本)、万葉館

(和歌山市和歌浦南)

海南省の藤白の獅子舞は、千二百一年、後鳥羽上皇が熊野詣でのため、藤白神社に滞在されたとき、上演したのがはじまりとされています。

昭和四十一年、和歌山県指定無形民俗芸能に指定されたのを機会に「藤白の獅子舞保存会」を結成し、伝統文化の伝承と後継者の育成を目的に活動されていています。

海南省の藤白の獅子舞保存会  
代表 岡義明氏・海南省  
昭和四十一年結成



「心ふれあうまちづくり」「活力あるまちづくり」「個性あるまちづくり」を基本目標としている紀州ふるさと運動。その一貫として、県内各地で紀州ふるさと運動の趣旨に沿った活動を行い、功績のあった個人、団体を表彰する「ふるさと大賞」が決まりました。六回目を数える今年は、ふるさとづくりに活躍中の次の五つの団体が受賞されました。これからも、それぞれの地域のまちづくり、ふるさとづくりにがんばってください。

# がんばっています。 ふるさとづくり

## ふるさと大賞受賞団体紹介

現在は、二十五～二十六歳の若者十八人が主体メンバーで、従来の会員はOB会として指導、職業は会社員、自営業など様々ですが、毎月一回の練習を欠かさず、伝来の神事をつとめるとともに各地で公演を行っています。

現在は、二十五～二十六歳の若者十八人が主体メンバーで、従来の会員はOB会として指導、職業は会社員、自営業など様々ですが、毎月一回の練習を欠かさず、伝来の神事をつとめるとともに各地で公演を行っています。

**根来の子守唄保存会**  
代表 西口志津氏・岩出町  
平成四年組織の再結成



郷土に伝わる数多くの史跡と伝承文化の資料の収集、保存に取り組んでいます。史跡の復興、伝統芸能の復活、伝承や史跡紹介のパンフレット、「天野大社周辺の史跡」「天野の里」の発行や冊子「高野山麓 天野の文化と民俗」の発刊など地域と一緒に活動を続けています。

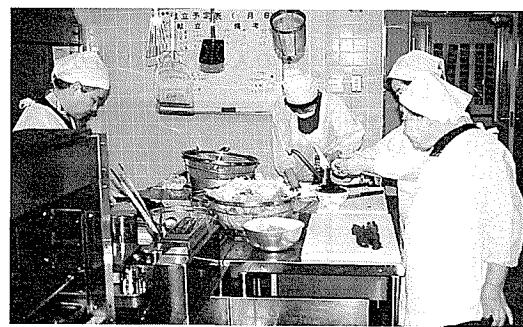
**栗栖川三番叟保存会**  
代表 那須健男氏・中辺路町  
平成三年結成



目的をもって、昭和五十九年に結成されました。

町内の福祉施設でのオムツたみ、雑巾づくりなどの労力奉仕活動や地域福祉センターでのデイサービス事業の給食ボランティアとして、毎日四～五人一組でローテーションを組み実施しています。

**天野歴史文化保存会**  
代表 谷口正信氏・かつらぎ町  
昭和五十九年結成



ボランティアグループ「ちちろこ会」  
代表 小池ふみよ氏・美浜町  
昭和五十五年結成



地域住民全員の協力をもとに、郷土に伝わる数多くの史跡と伝承文化の資料の収集、保存に取り組んでいます。史跡の復興、伝統芸能の復活、伝承や史跡紹介のパンフレット、「天野大社周辺の史跡」「天野の里」の発行や冊子「高野山麓 天野の文化と民俗」の発刊など地域と一緒に活動を続けています。

地域住民全員の協力をもとに、郷土に伝わる数多くの史跡と伝承文化の資料の収集、保存に取り組んでいます。史跡の復興、伝統芸能の復活、伝承や史跡紹介のパンフレット、「天野大社周辺の史跡」「天野の里」の発行や冊子「高野山麓 天野の文化と民俗」の発刊など地域と一緒に活動を続けています。

かつらぎ町天野の伝統と歴史を探り、地区の学習の場を作る

昭和五十五年、町内の婦人会の有志や保健婦OBら七人で結成し、地域でのボランティア活動の草分けとして活躍されています。現在会員数は六十五人。

三番叟チップを復元し、CD盤に収録したのを契機に小学生を対象に「保存継承」の計画を立て、地元小学生を中心指導したり、各種行事やイベントなどで芸能を披露するなど、地域での伝統芸能復興運動の一翼を担っています。

三番叟チップを復元し、CD盤に収録したのを契機に小学生を対象に「保存継承」の計画を立て、地元小学生を中心指導したり、各種行事やイベントなどで芸能を披露するなど、地域での伝統芸能復興運動の一翼を担っています。

昭和五十五年、町内の婦人会の有志や保健婦OBら七人で結成し、地域でのボランティア活動の草分けとして活躍されています。現在会員数は六十五人。

## 和歌山県文化表彰受賞者 5人と2団体に決まる

文化の向上発展に特に顕著な功績のある方をたてる県文化表彰の表彰式が11月1日に行われました。

30回目に当たる今年は5人と2団体の方が受賞。受賞者の皆さんのおさらなるご活躍をお祈りします。



上横手 雅敬氏（学術）  
龍谷大学教授及び京都大学名誉教授。日本史学、とりわけ中世史学界の第一人者として研究を続けられ、「鎌倉時代—その光と影」などの著作で知られる。また長年県史編さん事業に携わり、その完成に大いに寄与された。

玉井 一郎氏（文化振興）  
県立近代美術館協議会の会長を務め、民間の立場から積極的に美術館運営に携わられた。昭和五十九年に「和歌山版画ビエンナーレ展」を創設。この展覧会は、世界六十三カ国から約三〇〇点もの応募があり、国際的にも高い評価を得ている。このほか、県立近代美術館が完成した際、「佐伯祐三コレクション」など貴重な所蔵品を多数寄贈されなど和歌山県の芸術文化の振興に大いに貢献されている。

文化功労賞  
有本 弘氏（洋画）  
県立日高高校に勤める傍ら、昭和四十七年には独立賞及び児島善三郎記念賞などを数々の賞を受賞。平成四年教職を退いてからは、郷土美術文化の振興に尽くされている。現在県美術家協会洋画部長などを務められている。

西川 千鶴子氏（日本舞踊）  
芸名 藤間勘操。六歳の頃から日本舞踊を習い始め、昭和十四年藤間流名取免許を取得。師匠

室町時代から有田郡清水町杉野原地区に伝わる、稻作の様子を表現して五穀豊穣を祈る舞。保存会では、現在も二年ごとに古式のつとつた行事を奉納し、この歴史ある伝統文化を後世に伝えるために尽力されている。

としての指導力には定評があり、流派を越えて多数の名取師匠を育成してこられた。また本県の舞踊会の先達として、芸術文化の普及・振興に寄与している。

文化奨励賞  
新井 真子氏（音楽）  
マリンバ演奏家として、関西フイルハーモニー管弦楽団などと共に演奏。昭和四十六年から始まった県文クリスマスチャリティーコンサートに二十四回連続で出演。「マリンバアンサンブル和歌山」の開催など、県内の音楽文化振興に大きく貢献している。

和歌山県吹奏楽連盟（音楽）  
昭和三十九年に吹奏楽の演奏活動を通して、音楽文化の普及、技術の向上を図ることを目的に設立された。以後積極的に発表活動を実施。全国で最初に県アンサンブルコンテストを開催するなど、和歌山県の音楽環境づくりに大いに寄与された。

杉野原の御田の舞保存会（郷土文化）  
室町時代から有田郡清水町杉野原地区に伝わる、稻作の様子を表現して五穀豊穣を祈る舞。保存会では、現在も二年ごとに古式のつとつた行事を奉納し、この歴史ある伝統文化を後世に伝えるために尽力されている。

# 県政を振り返って

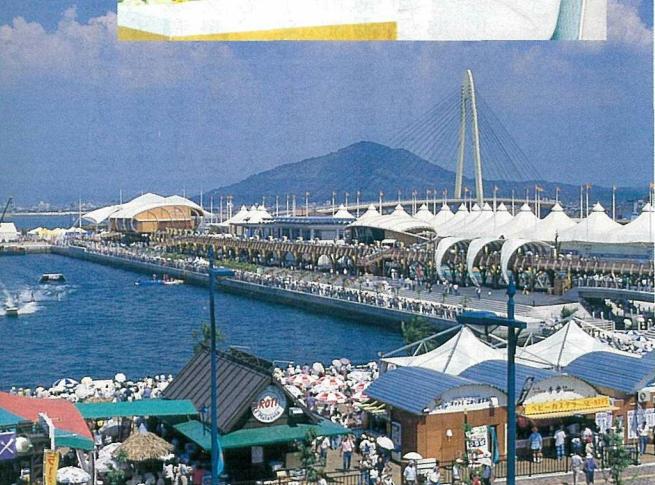
11日 国道42号(一般有料道路)湯浅御坊道路の広川I.C~吉備I.C間が開通。



12日 和歌山市毛見の国道42号新毛見トンネルが完成。



15日 秋篠宮同妃両殿下をお迎えして世界リゾート博開会式を行う。



19日 和歌山県渇水対策本部を設置。

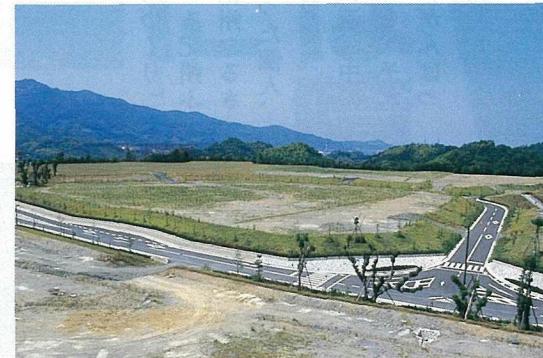
26日 片男波公園に体育館などを備えた「健康館」と、万葉世界が体感できる「万葉館」が開館。



## 8月

3日

先端産業を導入していく「海南インテリジェントパーク」の造成が完了。



17日

重度障害者雇用企業「ワインナック株式会社」の創立総会を開催。



27日

テクノスーパーライナーの実験船「飛翔」が世界リゾート博会場へ寄港。



30日

世界リゾート博目標入場者数150万人を突破。



30日

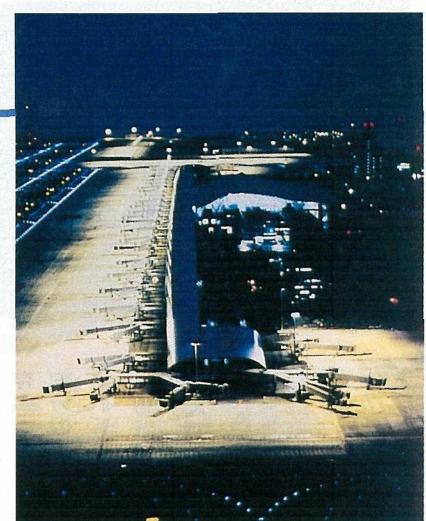
府県間道路岬加太港線の大川バイパスが完成。



## 9月

4日

関西国際空港が開港。24時間運用の海上空港として世界をつなぐ。



10日

和歌山県、フランス・ピレネーオリアンタル県の友好提携1周年記念式典を開催。

25日

世界リゾート博、大盛況のうちに閉幕。会期中の入場者数は298万1,199人を記録。



## 10月

20日

ごみ減量・リサイクルシンポジウムを開催。

25日

県立医科大学看護短期大学部の建設工事が始まる。



## 11月

7日

この日を「紀州山の日」と制定。記念事業を田辺市、古座川町で開催。

8日

近畿自動車道松原すさみ線「御坊~南部」間の路線が発表される。

# 今年の和歌山県

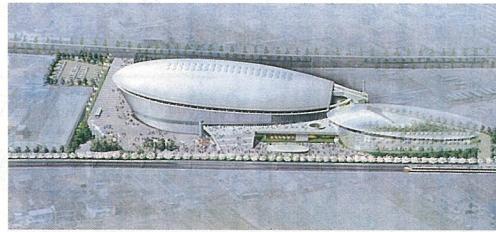
## 1月

- 4日～ 景気対策として県の中小企業向け融資制度の融資利率を大幅に引き下げる。
- 31日 県立医科大学附属病院に、最新式の血管撮影治療装置を導入。



## 2月

- 10日 巨大な白鯨をイメージした外観の和歌山県多目的ホール(仮称)の基本設計を発表。メインアリーナは8,500人収容。

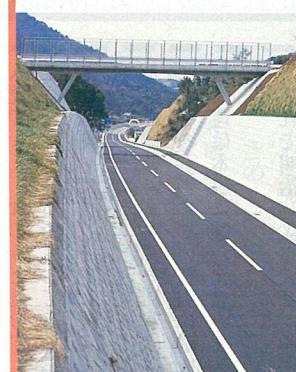


- 17日 和歌山県と友好提携を結んでいるフランス・ピレネーオリアンタル県。その県都ペルピニアンの商店街と和歌山市の中央商店街連合会が友好提携を結ぶ。

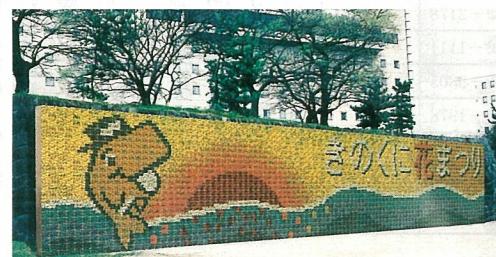


## 3月

- 3日 和歌山県景気・雇用対策本部を設置。
- 19日 川辺町玄子と早藤を結ぶ県道御坊美山線玄子バイパスが完成。

19日  
27日

「きのくに花まつり」を開催。“花の和歌山”を県内外にアピール。



27日

和歌山市松江の西松江緑地が整備完了。これで河西緩衝緑地がすべて完成し住民の憩いの場として充実。



31日

新宮市広角～三輪崎間の国道42号広角道路が完成。



## 4月

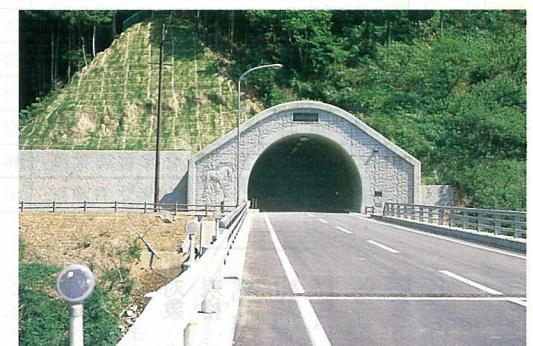
- 4日 第66回選抜高校野球大会で智辯和歌山高校が優勝。
- 14日 障害者や高齢者の方に配慮した施設の整備状況をとりまとめた和歌山県福祉ガイドマップ「わかやまのやさしい地図」を作成。
- 25日 県政に関する世論調査の結果を発表。和歌山県で定住希望を持っている人は8割強。

## 5月

- 11日 県長期総合計画「新世紀の国21」第三次中期実施計画を発表。
- 18日、21日 特別養護老人ホーム「寿楽園」、「温泉ハウスくまの」が金屋町、新宮市にそれぞれ完成。
- 29日 この日を「紀の国川の日」と制定。有田川河川敷で記念フェスティバルを開催。

30日

国道424号 美山～金屋バイパスが完成。紀北地域と新宮市を結ぶ内陸部を縦貫する新しいルートとなる。



## 6月

- 5日 護摩壇山森林公園で県民参加によるシャクナゲの森造成事業を実施。
- 22日 ホームヘルプサービスやデイサービスなどの実施機関を記載した健康・福祉パスポートを県内老人世帯の全戸に配布。

## 7月

- 2日 けやき通り(県道和歌山停車場線)和歌山駅前道路の整備が完成。



- 8日 文化、芸術の発展を目指し新県立近代美術館、博物館オープン





県庁・県教育委員会は

**「わが家の家計簿・生活設計」体験談**

内容 家計簿をつけ始めたきっかけや、つけるうえでのアイデア、生活ぶりの変化および家計簿をもとにした生活設計など体験に基づく作文

賞 特賞5点各10万円、優秀賞10点各5万円、奨励賞85点程度

形式 四百字詰原稿用紙5枚以内。簡単な月別項目別支出一覧表、生活設計談には生活設計表添付。

応募方法 原稿に住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号、家族構成(氏名、続柄、年齢、職業、学校、学年)、家計簿記帳年数、生活設計を立ててからの年数を記入し、平成7年2月28日までに県庁県民生活室内貯蓄推進委員会へ

賞 特賞5点各10万円、優秀賞10点各5万円、奨励賞85点程度

子どもを育てて良かつたこと、楽しかったこと、夫婦の協力談等を原稿用紙2枚程度に書いてください。(未発表のものに限る)

資格 県内在住又は通勤する子育て経験のある方

応募方法 住所、氏名、年齢、電話番号、家族構成(年齢も)を記入のうえ、平成7年1月31日(消印有効)までに県庁児童家庭課へ

賞品 応募者全員に記念品、文集に採用された方には図書券を進呈します。

くわしくは応募先へ

などに使われることはありません。12月は骨髓バンク推進月間です。骨髓バンクへの登録にご協力をお願いします。

くわしくは県庁統計課へ

12月は骨髓バンク推進月間です。骨髓バンクへの登録にご協力をお願いします。

くわしくは県庁統計課へ

書の程度による支給制限があります。各県事務所民生課、県庁障害福祉課へ

3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

3歳未満の児童扶養手当

20歳未満で、精神又は身体中程度以上の障害のある児童を在宅で養育している父母等に手当が支給されます。

2級(重度) 50,000円

○特別児童扶養手当

20歳未満で在宅の精神又は身体中程度以上の障害のある児童を在宅で養育している父母等に手当が支給されます。

2級(中度) 33,300円

○特別障害者手当

20歳以上で在宅の精神又は身体中程度の障害のある方

12月10日は「人権デー」、12月4日～10日は人権週間です。国際化時代にふさわしい人権意識を育てましょう。

いじめ、体罰など人権問題でお悩みの方は、和歌山地方法務局(0734)22-5131、又は同各支局へ

年末年始の運転免許関係の窓口業務の休業日は次のとおりです

運転免許試験(期限切れを含む)

12月27日～平成7年1月8日

運転免許関係窓口業務

12月29日～平成7年1月3日

12月1日～10日までの10日間、

年終の交通事故防止

県民運動

12月1日～10日までの10日間、

漏れたり、税金のための資料

守られていましたので、外部

協力をお願いします。

なお調査した内容は法律によります。

保険料は納付書により指定の金融機関で直接納めるほか①口座振替の利用②納付組織に加入③前納制度の利用があり、これらを利用しますと納め忘れがなく便利で確実です。

くわしくは県庁国民年金課へ

社会保険事務所、市町村役場へ

直接試験

国語I、作文〔選択科目〕英語、生物、農業、家庭一般(女子のみ)の内1科目

筆記試験〔必須科目〕数学I、

時 地

12月 平成7年1月20日前9時

場所 県農業大学校(かつらぎ

試験日 平成7年1月中旬に実施予定

申込 履歴書を郵便書留(封筒の表に応募職種を朱書き)で12月22日(消印有効)までに県教委員



## 国際的な観光地へ

11月6日、世界観光大臣会議親善交流ツアーの一行が南部川村の「うめ21研究センター」を訪れました。

一行は大阪で開かれた「O S A K A ワールド・ツーリズム・フォーラム'94」に出席した後、日本の文化に対する造詣を深めようと、近畿の各地を訪問したもので、本県へはカナダ、モンゴル、ケニア、中国などの観光担当大臣ら総勢約60人が訪れました。

「うめ21研究センター」では、名之内の獅子舞などの郷土芸能を興味深く見学し、梅料理研究会の方々による手作り料理や村の特産物、備長炭を使ったバーベキューに舌つみを打っていました。

また、11月7日には日本とカナダの観光交流を促進するための第2回日加官民観光定期協議(和歌山会議)が南部町で行われました。

カナダには本県出身者やその子孫が多く住んでいることなど関係が深いこともあります。今回の会議を国際観光、国際交流の推進のために誘致しました。

カナダ側からはカナダ産業大臣マシュー氏のほか州政府大臣ら政府関係者、観光関連業界など約70人が出席。日本側からも国、県の関係者や観光関連業界など約50人が出席しました。

基調講演、日本、カナダ双方からの報告会の後、両国の観光交流のあり方や今後の方向づけなど熱心に討議されました。



## 和歌のロマン 短歌入選作発表

女性だけの企画・運営により現代の女性の想いを後世に残すため「和歌」を全国募集し「平成女性和歌集」の編さんをすすめていますが、このほど入賞作品の発表会と歌人、馬場あき子氏による講演会をおこないました。

応募総数約2,800首の中から知事賞に選ばれたのは、

「ハイヒール履きし足が地下足袋  
に馴染みて土の温もりを知る」

橋本市の赤坂文代さんの作品です。

そのほか、馬場あき子賞10首、和歌のロマン大賞1首、和歌のロマン賞2首、優秀賞23首がそれぞれ選ばれています。

作品は女性から見た身近な日常生活や仕事を題材にしたもの、社会問題を取り上げたものなどさまざまなお題から詠まれています。

来年3月には応募作品のなかから約600首を厳選し、「平成女性和歌集」を編さんし出版する予定です。



ハイヒール  
履きし足が  
地下足袋  
に馴染みて  
温もりを知る



打ち合わせ中の企画実行委員の皆さん

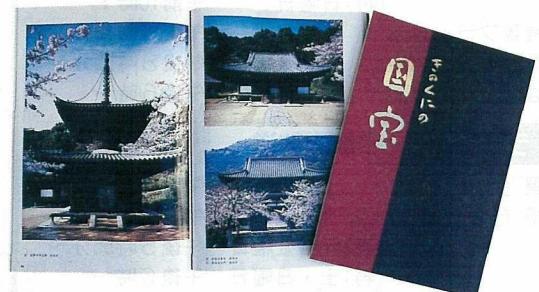


## わかやま北南 NEWS

このほど、県立博物館から和歌山県内の国宝をすべて紹介した「きのくにの国宝」が出版されました。絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、建造物、考古資料の順にカラーで紹介し、それぞれに解説を掲載しています。県内の貴重な歴史、文化の遺産をじっくりと味わってください。博物館内で一冊千五百円で販売しています。

くわしくは県立博物館 (0734) 8670へ

## 和歌山の国宝を 一冊で紹介



**ナイチンゲール記章受賞  
国部ヤスエ、戸沢セイ**

シリーズ 96



和歌山県が生んだ二人の偉大な看護婦、国部ヤスエ(写真右)と戸沢セイ(写真左)。両名とも日本赤十字社和歌山支部病院看護婦養成所に学び、日赤和歌山支部病院の看護士となりました。戸沢セイは昭和十二年の支那事変勃発に際し救護看護婦として召集され、二年余り戦地で活躍し帰国した。二人とも、生来のやさしい性格で周囲の人から慈母のように慕われた。昭和二十年七月の和歌山空襲で病院が全焼したときには、二人は協力し、猛火の中約千二百人の患者、看護婦を全員無事避難させた。それまでの功績が認められ、国部ヤスエは昭和二十六年に、戸沢セイは昭和四十四年にそれぞれ赤十字国際委員会からフローレンス・ナイチンゲール記章を授与され、看護婦として最高の栄誉に輝いている。

が  
あ  
き  
と

今年ももう十二月、一年が過ぎるのは本当に短く感じるもので、ついこの間一月号を作っていたような気がします。暑かった夏と世界リゾート博が今年の強烈な印象として残っていますが、皆さんはどうですか。一年間ご愛読ありがとうございました。毎月各家庭へ届けていた皆さん、本当にご苦労さまでした。よいお年をお祈りします。